翔生（しょうせい）

発行 全国商工会議所青年部連合会
〒100 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業会館内
☎03-3283-7487
編集 広報委員会

平成8年（1996年）
8月1日号
通巻 第21号
（年2回 3月、8月発行）

YEG

Symbol Logomark　これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで親しみ易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野をもった時代者＝Youth Energy, Generalist）を表しています。

●ごあいさつ●

平成8年度総務青連副会長
大村 晴利

今年度、商青連事務局会長を命ぜられまして略三期連・大分YEGから出向をさせて頂いております。

平成8年度商青連・松田丸も馬事に中盤を迎え、スムーズな出発が出来ました。4月から始まりました全国9ブロックの会長会議に数組織の代表として、松田会長のお供で河井事務局長、全て回らせて頂きましたが、改めて全国各地域で、各単会で頑張っているメンバーのガッツに感銘した次第です。私も全力で頑張りますが、皆様の絶大なるご支援をお願いします。

平成8年度総務青連副会長
笹垣 正弘

平成8年度、東海区と第2部総務委員会の担当副会長を務めさせて頂きます。

第2部総務委員会の事業は、青年経済人としての資質向上を図るための、各種研修会の開催があります。

6月末日に、「商青連経営者セミナー」を開催し、全国各地から23名の会員の参加を頂きました。

2年目を迎える「輝生塾」も、開催されますので宜しくお願いいたします。

厳しい経済環境の中、地域活性化と各企業の発展のために、会員の皆様の一層の努力を祈念申し上げます。

最後に二倍増、二倍力を唱して、お願いいたします。

平成8年度総務青連副会長
古泉 幸一

商青連の指針の1項目に「行動こそ時代を動かせる青年の資質と信じ力を合わせ国の礎となろう」とある。時代の変化で行動の質の持つ意味が大きくクローズアップされてきたのではないでしょうか。10年度から引き続き副青連では、独自のYEGの後輩の構築も模索しています。青年の責務と信じてとにかく行動しなければと組青連委員長の頃より指針として掲げているわけですが、この時代こそ指針の重みを考えてみたいと思います。この1年ぜひ地域の枠を越えた行動を全国の皆様とともに起こして行きたいと思っています。

平成8年度総務青連副会長
竹内 豊

私ごとになりますが、多いと存じますが、平成7・8年度に続き、再短より出向しております。宜しくお願い申し上げます。平成本部（故橋一）と同期の世代の卒業により、事業から商青連まで、新たな展開を公私としていきます。そんな中で、社会の皆様方から、YEGへの期待が高まっています。YEGの持つ「時代とされる魅力」とは何でしょうか。常にビジネスに接した形に身を置いた運営、全国に広がる人的ネットワーク、理論を備えた行動力等、私達に求められている事、できる事を、プラス思考で考え、一緒に行動しましょう。

平成8年度総務青連青年部部長
河井 達志

昨年は商青連の財政委員長として商青連事業・ビジネス交流プラザを担当させて頂きました。お世話になりました皆様方にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。今年は、ブロック代表理事や他の役員と一緒になって規約やシステムについて検討をしながら、ふりを協いることなく・ムウをなくして・ムダを省き商青連が各単会や仲間のために、より機能的に運動できるように工夫を重ねております。そのために青年方の御知恵を拝借し各関連組織などへお答えさせて頂いております。その際は、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

青年部活動のあるべき方向

平成8年度商青連会長　**松田 祥吾**

全国各地の商工会議所青年部の会員の皆さんにお答ね致します。

貴方は今の商工会議所青年部の活動に100%満足していますか…？

残念ながら所どの会員が満足しておられないと思いますし、商工会議所の活動すら知らない会員もいるかもしれません。

それは何故か…。それは2つの点がはっきりしていないからです。

1つは、私たちは、「商工会議所活動の一翼を担う」と熱弱のなかで唱い上げています。寄った見方かもしれませんが、そのと和りの活動をしている青年部は大変少ないと思います。この半年間、商青連会長として全国各地を訪問させて頂きましたが、このことを強く感じています。

それは、青年部活動の著し差しでは無く、我々の現況として、それぞれの商工会議所の活動内容を充分把握しているかどうか、それ以上に我々の信頼である商工会議所の先輩けとしての役割を果たしていないのではないかと思うからであります。

私は、青年部は、それぞれの商工会議所の年度方針や地域が抱える諸問題に、もっと明確に協賛できるシステムを作ることが必要と思うからであります。そして、地域のイベントや年間行事のただ無くてはならないメンバーとしてだけではなく、各地商工業の中長期の戦略計画への青年経済人としての責任ある協力と実行力を伴った青年部をアピールすることが必要と思います。

もう1つは、私たちのYEGは「Young Entrepreneurs Group」の略であります。

このEntrepreneur（起業家）という言葉を初期に広めたのは私たちの先輩かもしれません。しかし、私たちはこの起業家という意味を忘れてはなりません。ともすれば我々は各地の商工会議所とたいパイプで結ばれているため、業を起こすという事を忘れ、業を守るという行動に走りがちではないでしょうか。

世間の何かのしがらみや既成概念に囚われること無く、本来のEntrepreneur（起業家）精神を思い起こしましょう。

私は、ここにあえて宣言します。我々は各地の商工会議所青年部活動や地域の商店街活動、そして地域の同業者組合活動の何おこしをしながらも、現状に埋没されたり、既成概念に囚われること無く、新しく業を起こそうではありませんか…。私たちを取り巻く現況のなかには通れられない現実の壁ぶつかるあるかもしれません。しかし、それを打破するために充分な商工会議所の機能と、地域におけるネットワークを持っているではありませんか。それらに気付かず、業を守ることにあくせくしてはならないのです。自ら、何等かの業を起こす気概なくして、何のEntrepreneurでしょうか。

以上、感じたことを3点述べてみました。あと5年で新しい世紀になります。中小商工業者はさらに厳しい環境下に置かれることでしょう。しかし、厳しい中に大きなチャンスが訪れてきています。

その中で青年部活動も時を待て、上記の2点においてその方向性を明確にし、多いに青年部活動に満足して下さい。

私の思いをしたためました。本年は、この後各地のブロック大会や全国大会、そして全国会長幹事会と皆さんとお会いする機会がありますが、私の意図する「商工会議所の一翼を担い」、「若き起業家を目指す」人々の集まりであることを念頭しております。そして、是非会員同士がそれらの機会を活かして、新たな「出会い」、新たな「交流」そして新たな「連携」が生まれ、自らの仕事の一助とならんことを心から祈ります。

■平成8年度年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	2月	3月
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
関西	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東海	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中国	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

人が接点　　地域が原点

平成8年度ブロック大会

主管YEG からのPRメッセージ

今、拡げようYEG連携!!

全国YEGメンバーの多数のご参加お待ちしてます（ブロック外からの参加OK）

北海道ブロック■滝川大会

どさんこ集合！滝川の地に!!

参加申込先　滝川商工会議所青年部　〒073-0013 滝川市大町1-4-1　TEL.0125(22)4341　FAX.0125(23)3292

（開催発テーマ）
「新たな時代、行動する勇気を!」

私たち滝川商工会議所青年部の活動はいったい何を今、何を求めているのでしょうか。時代、変革の時、歴史の転はいつの世も熱ある者が取ってきた。私たちは、今をもとがなければならない。私たちは、自らの地域社会を原点として、そこに集まる人々の総力を結集し、YEGと連携を通して新たな時代に向けて、共に行動する勇気を持とう。北海道YEGの皆さん、今年滝川の地で再確認をしよう。

○プログラム

8月31日（土）
（受付）午後三時～五時
（第一部）三時～
（記念講演）
「人が接点、地域が原点、今、拡げようYEGとの連携」
（講師）
（ブロック大会）
（第二部）五時～
（懇親会）
（ホテル三浦屋）
（第三部）八時～
（ホテル三浦屋）

9月1日（日）
（ブロック大会）
（ホテル三浦屋）
（第一部）九時～
（第二部）十時～十一時
（ホテル三浦屋）
（第三部）十一時～十二時
（ホテル三浦屋）
（第四部）十二時～
（ホテル三浦屋）
（第五部）十三時～十四時
（ホテル三浦屋）
（第六部）十四時～十五時
（ホテル三浦屋）
（第七部）十五時～十六時
（ホテル三浦屋）
（第八部）十六時～十七時
（ホテル三浦屋）
（第九部）十七時～十八時
（ホテル三浦屋）
（第十部）十八時～十九時
（ホテル三浦屋）
（第十一部）十九時～二十時
（ホテル三浦屋）
（第十二部）二十時～二十一時
（ホテル三浦屋）
（第十三部）二十一時～二十二時
（ホテル三浦屋）
（第十四部）二十二時～二十三時
（ホテル三浦屋）
（第十五部）二十三時～二十四時
（ホテル三浦屋）
（第十六部）二十四時～二十五時
（ホテル三浦屋）
（第十七部）二十五時～二十六時
（ホテル三浦屋）
（第十八部）二十六時～二十七時
（ホテル三浦屋）
（第十九部）二十七時～二十八時
（ホテル三浦屋）
（第二十部）二十八時～二十九時
（ホテル三浦屋）
（第二十一部）二十九時～三十時
（ホテル三浦屋）
（第二十二部）三十時～三十一時
（ホテル三浦屋）
（第二十三部）三十一時～三十二時
（ホテル三浦屋）
（第二十四部）三十二時～三十三時
（ホテル三浦屋）
（第二十五部）三十三時～三十四時
（ホテル三浦屋）
（第二十六部）三十四時～三十五時
（ホテル三浦屋）
（第二十七部）三十五時～三十六時
（ホテル三浦屋）
（第二十八部）三十六時～三十七時
（ホテル三浦屋）
（第二十九部）三十七時～三十八時
（ホテル三浦屋）
（第三十部）三十八時～三十九時
（ホテル三浦屋）
（第三十一部）三十九時～四十時
（ホテル三浦屋）
（第三十二部）四十時～四十一時
（ホテル三浦屋）
（第三十三部）四十一時～四十二時
（ホテル三浦屋）
（第三十四部）四十二時～四十三時
（ホテル三浦屋）
（第三十五部）四十三時～四十四時
（ホテル三浦屋）
（第三十六部）四十四時～四十五時
（ホテル三浦屋）
（第三十七部）四十五時～四十六時
（ホテル三浦屋）
（第三十八部）四十六時～四十七時
（ホテル三浦屋）
（第三十九部）四十七時～四十八時
（ホテル三浦屋）
（第四十部）四十八時～四十九時
（ホテル三浦屋）
（第四十一部）四十九時～五十時
（ホテル三浦屋）
（第四十二部）五十時～五十一時
（ホテル三浦屋）
（第四十三部）五十一時～五十二時
（ホテル三浦屋）
（第四十四部）五十二時～五十三時
（ホテル三浦屋）
（第四十五部）五十三時～五十四時
（ホテル三浦屋）
（第四十六部）五十四時～五十五時
（ホテル三浦屋）
（第四十七部）五十五時～五十六時
（ホテル三浦屋）
（第四十八部）五十六時～五十七時
（ホテル三浦屋）
（第四十九部）五十七時～五十八時
（ホテル三浦屋）
（第五十部）五十八時～五十九時
（ホテル三浦屋）
（第五十一部）五十九時～六十時
（ホテル三浦屋）
（第五十二部）六十時～六十一時
（ホテル三浦屋）
（第五十三部）六十一時～六十二時
（ホテル三浦屋）
（第五十四部）六十二時～六十三時
（ホテル三浦屋）
（第五十五部）六十三時～六十四時
（ホテル三浦屋）
（第五十六部）六十四時～六十五時
（ホテル三浦屋）
（第五十七部）六十五時～六十六時
（ホテル三浦屋）
（第五十八部）六十六時～六十七時
（ホテル三浦屋）
（第五十九部）六十七時～六十八時
（ホテル三浦屋）
（第六十部）六十八時～六十九時
（ホテル三浦屋）
（第六十一部）六十九時～七十時
（ホテル三浦屋）
（第六十二部）七十時～七十一時
（ホテル三浦屋）
（第六十三部）七十一時～七十二時
（ホテル三浦屋）
（第六十四部）七十二時～七十三時
（ホテル三浦屋）
（第六十五部）七十三時～七十四時
（ホテル三浦屋）
（第六十六部）七十四時～七十五時
（ホテル三浦屋）
（第六十七部）七十五時～七十六時
（ホテル三浦屋）
（第六十八部）七十六時～七十七時
（ホテル三浦屋）
（第六十九部）七十七時～七十八時
（ホテル三浦屋）
（第七十部）七十八時～七十九時
（ホテル三浦屋）
（第七十一部）七十九時～八十時
（ホテル三浦屋）
（第七十二部）八十時～八十一時
（ホテル三浦屋）
（第七十三部）八十一時～八十二時
（ホテル三浦屋）
（第七十四部）八十二時～八十三時
（ホテル三浦屋）
（第七十五部）八十三時～八十四時
（ホテル三浦屋）
（第七十六部）八十四時～八十五時
（ホテル三浦屋）
（第七十七部）八十五時～八十六時
（ホテル三浦屋）
（第七十八部）八十六時～八十七時
（ホテル三浦屋）
（第七十九部）八十七時～八十八時
（ホテル三浦屋）
（第八十部）八十八時～八十九時
（ホテル三浦屋）
（第八十一部）八十九時～九十時
（ホテル三浦屋）
（第八十二部）九十時～九十一時
（ホテル三浦屋）
（第八十三部）九十一時～九十二時
（ホテル三浦屋）
（第八十四部）九十二時～九十三時
（ホテル三浦屋）
（第八十五部）九十三時～九十四時
（ホテル三浦屋）
（第八十六部）九十四時～九十五時
（ホテル三浦屋）
（第八十七部）九十五時～九十六時
（ホテル三浦屋）
（第八十八部）九十六時～九十七時
（ホテル三浦屋）
（第八十九部）九十七時～九十八時
（ホテル三浦屋）
（第九十部）九十八時～九十九時
（ホテル三浦屋）
（第九十一部）九十九時～百時
（ホテル三浦屋）
（第九十二部）百時～百一時
（ホテル三浦屋）
（第九十三部）百一時～百二時
（ホテル三浦屋）
（第九十四部）百二時～百三時
（ホテル三浦屋）
（第九十五部）百三時～百四時
（ホテル三浦屋）
（第九十六部）百四時～百五時
（ホテル三浦屋）
（第九十七部）百五時～百六時
（ホテル三浦屋）
（第九十八部）百六時～百七時
（ホテル三浦屋）
（第九十九部）百七時～百八時
（ホテル三浦屋）
（第百部）百八時～百九時
（ホテル三浦屋）

東北ブロック■会津若松大会

いま会津若松は燃えているぞ!!

参加申込先　会津若松商工会議所青年部　〒965 会津若松市栄町6-5　TEL.0242(27)1212　FAX.0242(27)1209

東北六県各地で活躍しているYEGメンバーの皆様、そして関東連絡員を始め全国のYEGの皆様、こんにちは。今年度の東北ブロック大会は福島県会津若松市において開催されます。

当市はいにしえから多くの歴史とともに歩んでまいりました会津藩の中心地であり、歴史と伝統の香りただよう文化都市として広く知られています。

会津塗師・会津漆器を始めとする伝統産業や、会津磐梯山・猪苗代湖に代表される観光の基盤としての役割、そして会津盆地の農業の中心都市としての商業機能が当市の経済を支えてきました。そして今、高速道路の開通や、コンピュータテクノロジーの会津大学が、地域に新しいパラダイムをもたらそうとしているのです。会津の伝統とはまるにその中心に座って、次代の地域のあり方を模索し行動しています。

今回の東北ブロック大会では、私たちのそんな熱い思いを、参加して頂いた皆様に何らかの形で感じ取ってもらいたい、そして観光都市を自認する会津若松市の「人がもてなす魅力」というものを感じ取ってもらいたいと考えています。

それぞれの地域で奮闘している仲間の皆様、会津の空の下に集い語らいそしてふれ合いましょう。9月26日、心から待っています。

●日時：平成8年9月26日
●場所：午後1時～午後3時
●分科会：午後3時30分～4時30分
第1分科会（地域開発）
「会津の歴史（国際人形日光東北語る）」
第2分科会（まちなか活性化）
「まちづくり実践レポート」
第3分科会（高度情報化）
「マルチメディア社会と地方都市」

関東ブロック■伊勢崎大会

素朴な仲間の手作り大会

参加申込先　伊勢崎商工会議所青年部　〒372 伊勢崎市連取町2018　TEL.0270(24)2211　FAX.0270(24)4960

第15回の北関信越ブロック大会は、今秋の10月4・5日に富山市と石川県の金沢市との二度目の開催となります。富山駅の総曲輪地区で開催されます。

開催地は人口4万弱の小さな町ですが、故郷者に記載されている「故郷村」と称には「チューリップフェア」で全国的に有名なところです。

また、開催はまた北陸の秋がある、秋のチューリップ・梅雨の直後・夏のカナ・秋のコスモスで、ブロック大会は二度コスモスの花が見頃となる時期です。

開催は、開催地となる20名は、ブロック大会に向けて準備と意識を深めているところです。

「故郷村より文化の香り」北陸信越ブロックのYEGの秋開催に「向けて」をコンセプトに、開催地となる

上州伊勢崎より熱い熱い冷め熱いが素朴で温かな仲間の手作りの大会です。1日は大勢で、第十五回からオープニングに始まり歌なかにも和やかにお楽しみです。主催は伊勢崎商工会議所、サンデン（株）代表取締役十文字雅彦氏により「企業の国際戦略における文化、連携…」をテーマに講演、現役直前ている事業を元に講演していただきます。講師は分科会で第1「利根川の結び文化は、自治の変人」で「チャレンジ・オブ・トキ」といいかだ下りの実践事業とEG

北陸信越ブロック■砺波大会

砺波市から文化の香りを

参加申込先　砺波商工会議所青年部　〒936-11 砺波市北道町6-26　TEL.0763(33)2100　FAX.0763(33)4422

しなを出そうと出て出会を出し合っています。

砺波YEGは今年初回の開催を迎える京都会のありこの会館を記念事業の一環として位置付け、これを機に更なる飛躍をするために、参者される皆さんに温かをお伝えたい、皆を通の温度を市民の皆さんに理解していただこうと思っています。

4日の大会には、「後から」の総会を記念して、式典・講演会・パネルディスカッションを、場所を移動してこれを実施致しています。また、5日はエキスカーションを砺波化成株（日刊人工）に開催しているところです。

水・熱・食で物・酒が美味しく、人がやさしく、そして自然が美分にある地域の地域「北陸信越地域のインターチェンジの中心へ、ブロックの各地から、そして全国から来るとする事を目指す。EG一同、心を尽事しこれにお待ちしております。

東海ブロック■関大会

おまはん きてくんせー

参加申込先　関商工会議所青年部
〒361-22 関市本町2-1
TEL.0575（22）2268－8　FAX.0575（24）0002

今年度、東海ブロック大会を岐阜市の関市、岐阜県関市にて10月12日（土）に開催させて頂くことになりました。

関市は清流長良川を育む、1千有余年の歴史があるお伽噺の国、古くからの神社仏閣が数所に点在し、国指定の重要文化財の建物の数点数とが多数みられます。

また、かもしかなど会員といわれて、小学校、とも呼ばれています。又、鎌倉天代からの記録迄の地として、名刀「関の孫六」を産みだしました。現在は、刃物の街として、刃のゾーリング、鋏の国と言われるほど国際的スケールの刃物産業となりました。

大会テーマ「鍛練・技・匠」は、関刃鍛冶只今の鍛練による伝統技術と、先端技術の融合による匠の技術から、今後民々青年部会員がそれぞれ目指す方向のあり方として、掲げさせていただきました。記念講演には、日本アイ・ビー・エム株式会社会長　横石武雄さんをお迎えし、マルチメディアの現在と未来をお話していただく予定です。又、自由懇談されている刃物まつりにも参加していただき、楽しみのある特典も用意しています。

来ていただいた方に満足頂ける様、関青年会員のメンバー120名は現在、今年の全国大会は会員で、東海ブロック大会は小会員で、を合い言葉に総力を上げて準備を進めております。

カーの「ホームページ」です。第4「WWW・チャレンジ!!」かかあ町」はからっ風が吹き抜ける町がインターネットに挑戦しようと経営わりしようとしているか、遠慮には歩いてもらい知恵を行っています。

第五番目は、サンバダンサーで出発し、ふエーハーフショー始で皆さんをご歓待致します。多くの参加をお待致します。

近畿ブロック■大津大会

大津で大いに語り合おう

参加申込先　大津商工会議所青年部
〒520 大津市打出浜13-3
TEL.0775（22）4145　FAX.0775（36）8781

全国YEGのメンバーの皆様こんにちは。滋賀県・大津YEGは来たる9月7日（土）に近畿ブロック大会を主管致します。

本大会は式典・記念講演・懇親会の3部で構成され、記念講演では、長浜浩氏に同上作品百日間参事官の八幡百枝氏を招聘し、「21世紀の関西を見つめて」のテーマで国土政策に携わった氏のマクロな視点から地域連携・地域活性化をめぐっての講演を頂き、続いて牧野講演として北陸山賊三宅社長の船木吉郎氏より「経済人、講演人」としての仕事・志わやのしごと」のテーマで全国はユニクロな視点から新成人としてのマインドについて大いに語って頂きます。その後パネルディスカッションを開催し、ブロック内会員7名により事前に二段仕立ての活動事例調査資料をベースにYEGの方向性を大人なで模索したいと思います。当YEGはGAIAに接続の活動事例と市民参加型の百日記念誌を編集し、参加者全員の会員にて意見を行ないます。

大会当日には地元名産品に恵まれた雰囲気の豊かな自然を体験して頂ける各種エクスカーションも二日間設定しておりますので奮ってご参加下さい。

大津の地で大いに語り合い、ネットワークを広げてゆきましょう！　多数の皆様のご来津をお待ち致しております。

尚インターネットのホームページを開設しましたので是非一度覗いてみて下さい。"http://www.taiwa.com/"

中国ブロック■倉吉大会

織りなして発信 地域の旬

参加申込先　倉吉商工会議所青年部
〒682 倉吉市明倫町1101-11
TEL.0858（22）2261　FAX.0858（22）2101

今時、郊外のスーパーマーケットにはいつでもほしい食材が並んでいる。千葉のポスでは夏でもスキーができる、インターネットから入手できる情報は、森の香り感じない。情緒の移の思うも感じない。子どもたちは、ファミコンのバーチャルバトルで本物を味わっている。アウトレア用品の店では、ブランドを動く、クーラーボックスを売っている。

こんな時代だからこそ「旬」を感じていたい。

今年度9月20日、21日、鳥取県倉吉市で開催される中国ブロック大会は、自然に恵まれた地方都市ならではのテーマでこの大会を盛り上げようと計画しております。

テーマ「織りなして発信 地域の旬」

20日（金）は県と日本海、中国地方の霊峰大山を望む某社に宿入の一泊でのゴルフ大会。

21日（土）は式典、記念講演、別分科会開催を挟みながらの分科会、そして「旬」盛りだくさんの懇親会とで、沢山多い大会にすべく会員はりきっております。

みなさまのご参加をこよりお待ちしております。

（主な日程）

20日
8時30分より ゴルフコンペ
16時30分より 分科会開催会
21日
10時より 式典
11時より 基調講演・パネルディスカッション
14時30分より 分科会「関金温泉・三朝温泉・東郷温泉」
17時30分より 懇親会
参加料　1,000円

問い合わせ
倉吉商工会議所青年部
TEL.（0858）22-2261
FAX.（0858）22-2101
ホームページ
http://www.japanet.or.jp/~yeg110/index.html
メールアドレス yeg110@japanet.or.jp

四国ブロック■丸亀大会

起こそう 連携の風を!!

参加申込先　丸亀商工会議所青年部
〒763 丸亀市大手町2-1-30
TEL.0877（22）2211　FAX.0877（22）2699

「起こそう、連携の風を！」Ｉｎ　ｍａｒｕｇａｍｅ　うちわのまち　丸亀

これは、平成8年度四国ブロック丸亀大会の開催地テーマです。当丸亀は、四国は瀬戸内海に面する人口7万8千人の小都市、その中心には、全国でも唯一お現存しない本島城主浮城の丸亀城を持ち、また特産の「うちわ」は全国シェアの90％を占める「お城とうちわのまち」でもあります。四国の大会も、すでにこの地で1回目の幕開を、現在90名の丸亀YEGメンバーは、熱き思いのもと、一丸となって大会準備に励んでおります。

西田知男、また全国のYEGメンバーが、それぞれが仕事を持つ中、時間を割いてこの大会に集って来る。「共感した」時とあしたを！」、我々が大会を感覚し考える際の基本理念です。そして三百地丸亀のメンバー一人一人が何よりも、連帯感と満足感を覚えれば、日々の活動の糧となる。そんなブロック大会であらねばなりません。

分科会では、財政のうちわを題材とした「うちわの変遷教室」を始め、四つの分科会を、講演会では、落語家桂文珍師匠の「行く前の先見学」、そして、楽しいのある経営実践のお話しも、そして、幽霊を題とした怪談話、エキスキーションなどなど、楽しく実のある内容を企画しております。

9月13日（金）―14日（土）の二日間は、ここ丸亀へ、そして来て丸亀へ！

九州ブロック■佐世保大会

ハウステンボスで出会いと交流を

参加申込先　佐世保商工会議所青年部
〒857 佐世保市島瀬6-10
TEL.0956（22）6125　FAX.0956（25）8616

本年10月19日（金）・19日（土）の両日、長崎県の佐世保市において第九州ブロック大会を開催致します。

佐世保市は、明治時代に鎮守府が創設されて以来、軍港と造船の街として発展してきた佐世保港と、九州西の小島が点在する風光明媚な九州国立公園「九十九島」との二つの顔を持ち、又、年では、佐世保市の街ともなりました「佐世保港ハウステンボス」が、当市ハウステンボス町にオープンし、国内はもとより海外からも年間400万人の観光客が来場し、賑わいを見せております。

九州ブロック大会は、メインの会場をこのハウステンボス内（三笠天命）分科会場で、とし、分科会では、「街づくりと連携事業」と題し今年事業開催のハウステンボスの現場視察会施設の見学やマルチメディアの研修会等を企画いたしております。

エクスカーションとして佐世保ならではの体験が楽しめる、海上自衛隊護衛艦体験試乗と自衛隊へり体験試乗また、宇宙球を地ラブー等を企画し、特徴に富んで開けた大会を開催出来るように思惟を致しております。是非とも多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。又、本大会を通じ多くの会員の出会いと交流が図られ、延いては連携へと発展する事を大いに期待したいと思います。

第21号　平成8年（1996年）8月1日 (4)

ヒューマンネットで未来にアクセス、集え　まほろば！YEG

第16回全国商工会議所青年部連合会全国大会は11月15日㈮・11月16日㈯に奈良市で開催

開催要綱

1.目的

本大会は、商工会議所法制の一翼を担う全国各地の青年経済人が、交流と研鑽を通して次代への先導者としての資質向上を図り、併せて、新しい文化の創造と豊かで住み良い地域づくりに向けた各々の役割と貢献について認識を深め、地域経済社会の将来にわたる健全な成長・発展に資する事を目的として開催する。

2.スローガン

「人が結び　地域が輝く　今、起こすYEG運動」

3.開催地キャッチフレーズ

「ヒューマンネットで未来にアクセス、
集え　まほろば！YEG」

4.主催

全国商工会議所青年部連合会
日本商工会議所

5.主管

奈良県商工会議所青年部連合会

6.後援

通商産業省
奈良県
奈良市
奈良県商工会議所連合会
奈良商工会議所
財奈良コンベンションビューロー

7.開催日時

平成8年11月15日(金)　9：30～20：30
平成8年11月16日(土)　9：00～13：30

8.大会会場

奈良市中央体育館　奈良市法蓮町1516　電話0742－24－1501（代表）
奈良県新公会堂　奈良市春日野町101　電話0742－27－3600（代表）

9.参加者

商工会議所青年部会員並びに商工会議所役職員
商工会議所青年部OB会員

10.登録料

1人　15,000円（懇親会費を含みます）
※OB会員並びに非会員についても同額とさせて頂きます。
※懇親会不参加の場合も同額となります。

11.日程

●平成8年11月15日（金曜日）

商青連総会議	9：30～12：30	奈良県新公会堂
受付開始	12：00～16：00	東大寺正面入口
〃	16：00～19：00	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
会員総会	13：30～14：30	奈良県新公会堂
YEGビジネス交流プラザ	13：00～20：30	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
OBサロン	14：00～17：00	奈良県新公会堂
分科会（奈良発見会）		
野点コーナー	12：00～15：00	東大寺大仏殿
①記念講演	13：00～16：30	奈良県新公会堂
②企業見学	14：00～17：00	関西文化学術研究都市
③座・往言講座	14：45～17：00	奈良県新公会堂
④講話	15：00～16：00	東大寺本坊
大懇親会	18：30～20：00	奈良市中央体育館

●平成8年11月16日（土曜日）

受付開始	9：00～10：00	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
YEGビジネス交流プラザ	9：00～11：30	奈良市中央第2体育館
YEG全国まちおこし物産展	9：00～13：30	奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
記念式典	9：45～10：00	奈良市中央体育館
オープニング（南都楽所）		
YEGインターネット紹介		

1.開会宣言
2.全国商工会議所青年部連合会旗入場
3.国歌 斉唱
4.「商工会議所青年部の歌」
5.商工会議所青年部の「誓約」朗読「称賛」朗読「称賛」朗読
6.全国商工会議所青年部連合会長、挨拶
7.日本商工会議所会頭、挨拶
8.奈良県商工会議所青年部連合会長、挨拶
9.奈良県商工会議所連合会長、挨拶
10.来賓紹介
　通商産業省
　奈良県知事
　奈良市長
11.来賓紹介
12.祝電披露
13.日本商工会議所会頭、講話
14.主催者紹介
15.参加青年部紹介
16.次年度全国商工会議所青年部連合会長予定者、挨拶
17.次年度開催地発表
18.閉会宣言

12.エクスカーション

●平成8年11月14日（木曜日）
YEG親睦ゴルフコンペ　8：00～16：00　グランデージゴルフ倶楽部
前夜祭懇会・ゴルフコンペ表彰式　18：30～20：15　奈良県新公会堂
●平成8年11月16日（土曜日）　12：45～　市内各地
○伝統文化遺産を味わう
○秋篠・唐招提寺・今井町・橿原神宮めぐり
○西大寺大茶盛式

13.YEGビジネス交流プラザ

日　時　平成8年11月15日㈮「13：00～20：30」・16日㈯「9：00～13：30」
場　所　奈良市中央第2体育館
出店費　無料

異業種紹介、販売代理店事業などの営業活動や、企業PR活動のできる広場を大会会場に設け、商工会議所青年部の全国的ネットワークを活用の企業活動にご利用頂けるよう企画致しました。また、今回はインターネットの体験コーナーを含め、全国の商工会議所関連のホームページや、活用事例の紹介も行います。（E-Mail narayeg@impact-net.co.jp）

14.YEG全国まちおこし物産展

日　時　平成8年11月15日㈮「13：00～20：30」・16日㈯「9：00～17：00」
場　所　奈良市鴻ノ池運動公園中央広場
（バスの乗降位置から主会場への連絡にあたる広場に設置。）
出店費　無料

商工会議所青年部のネットワークを活かし、全国の有名物産の販売、また奈良に集えるYEGメンバーに奈良県を広く知って頂けるように企画致しました。

●構成　1：全国特産品
　　2：奈良特物産展

●規模　1：全国物産展　45ブース
　　2：奈良特物産展　30ブース　　1ブース（1.8m×3.6m＝6.48㎡）

■奈良大会用ホームページをインターネットに開設しました。
http://www.impact-net.co.jp/narayeg/

奈良県商工会議所青年部連合会会長　吉本博次

「第16回商工会議所青年部全国大会・奈良大会」は、奈良県商工会議所青年部連合会の主催のもと、奈良市において開催させていただきます。

平成8年度、「人が結び　地域が輝く　今、起げようYEG運動」のテーマのもと全国のYEG仲間が「奈良」に集い、新しい出会いと、そして交流・連携へとネットワークをより拡げていただけるよう活動が一丸となり準備を進めております。

今から二〇〇年前、政治面で初めて「国際都市」として栄えた「平城京」奈良は日本文化の発祥地であり、歴史と文化に富む国際的な観光都市です。

奈良にも今、新しい風が吹いています。

日本の先端技術が集結した「関西文化学術研究都市」からは今も最新の情報が世界に発信されつづけています。

「ヒューマンネットで未来にアクセス、集え　まほろば！YEG」の標語通りネットワークレスの中、全国各地のYEG仲間が一人でも多く、まほろばの地・奈良に集いたい。

21世紀に向けての青年経済人としての自覚と決意を込め、より強い、より深いネットワーク作りのお手伝いができればと思慕一同心より心待ちにしております。

11月は、15・16日、古都の秋、お会いしましょう。

全国大会実行委員会委員長　乾　安彦

平成8年度、第16回商工会議所青年部全国大会奈良大会は、奈良県商工会議所青年部連合会主催による、奈良市において開催させていただきます。

奈良は、日本文化発祥の地で、今もその歴史と伝統が息づいています。一方、関西文化学術研究都市といった国家的プロジェクトも完成を到達に控えています。

この地、全国YEGの皆様をお迎えするにあたり、ご用意できるものは、決してボタンをかけるものやかなものではありませんが、何かしらの中に味わいものを一つ詰めて帰っていただけるものと思っています。

分科会では皆に奈良にこだわりました、東大寺宗務所の対談、多くを語れた大会議

立以来、南都と言う謳われてきた奈良というより、日本の歴史の息吹に触れていただく事ができるでしょう。さらに日本の古都の代表とされる唯一無二の都市、そして悠遠の心の原点を見つけていただけるものと思います。そして、井口恒雄氏による「地域の活性化とYEG」

「地域の活性化」のテーマで記念講演が行われます。井口恒雄氏は、その一方、大学教授という事を兼ねられた方で、歴史と現場経験とエトルギッシュな話で、また「YEGの世代」と題して、世界の「技術」の歴史を語ることとしました。

また一方で、世界中の歴史と最先端技術の世界では、来世紀の「技術」の歴史と化を込み込む奈良公園の新著等々、歴史の未来と最先端技術にどうぞ皆様ご期待下さい。

全国大会実行委員会委員長　今西泰宏

本年11月に開催されます第16回商工会議所青年部全国大会奈良大会も間近になり奈良県連のメンバーも連日準備に追われております。まず、奈良らしい特色をたくさんと分科会を奈良見学とし、「記念講演」、「企業見学」、「野点」、「往言講座」、「講話」の4つのコースを企画しました。

又、YEGビジネス交流プラザにはインターネットを導入し、実際にまで触れるがYEG仲間にアクセスしたいと考えています。

エクスカーションとして①新著文化遺産を味わう「法隆寺・宗教館・高松塚・今井町・橿原神宮めぐり」②「西大寺大茶盛」③「西大寺大茶盛」

また、わかりやすく見つける新・往言講座や講話等で日本人の心の原点に触れて頂き、インターネットや企業見学、関西文化学術研究都市で「未来にアクセス」、私の奈良・大和路をエクスカーションで満喫し、ゆったりとしたかの古代、古都のなかに大いなる夢をしてください。楽もまっています。是非、奈良へお越しください。

●研修第一委員会

11月に奈良、2月には岩見沢で熱く燃えよう!!

研修第一委員会委員長　足立善信

当委員会は、商青連会主催する全国大会、全国会員研修会の主管地とのパイプ役、窓口委員会として位置されています。

当委員会の一番重要な役割は、主管地の同業者懇談会のもとに、各分科会・会員広場・七会日の、全体テーマ等を会員に配布、説明を行う事だと考えています。

さて、当委員会が担当する最大の事業、平成8年度「第16回商工会議所青年部全国大会」が11月15日（金）16日（土）、奈良のふるさと、日本文化発祥の地として今日の歴史と伝統が息づく奈良県において開催されます。

第一分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第二分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第三分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第四分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第五分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第六分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第七分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第八分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第九分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

第十分科会は、奈良だから、この体験できる魅力的な分科会の数々、記念講演、先端技術の粋を集めた関西文化学術研究都市の企業見学会、正倉院の秘物で湧られた日本一の歴史の宝庫を誇る、奈良県庁、東大寺において、宗教関係者の講話と座談会、また、奈良の歴史と伝統を、自分の手で触れることが出来ていまうという、正に奈良ならではの分科会です。

●研修第二委員会

YEG連携を再認識

研修第二委員会委員長　児玉龍之介

6月末日に行われたYEGビジネスでは、当委員会の手参四土の盛り上がりを感じました。

講師の方々も若いインバーを前にして、熱気を感じられたようで、特に、「世界の講演」として登場されました本年度は竹村健一さんの「大変革の日本」を見届けに、セミナーが開始されました。

特に国民の意識の中で興味深かったのは、長場の特性は何か、それを長期に考え、見つけることが地方活性になるということで結論が出たかと思います。

岡山は中国自動車道と本四連絡が交差して、日本海に繋がる日本の中でも地理的に恵まれた土地であり、この二点連絡の設備を生かして、いろんな物流や交流が出来、将来有望な地域であり、これを活用しない手はないということであった。

この講演は今年度のYEGスローガンである「地域が輝く」というYEGと協働にも、非常に参考になるのではなかろうかと思っています。「新時代に対応」と題されたこの講演では、佐々木かをりさんの講演では、具体的な資料は基本イメールの相談で進までにおくれたと、お互いに会うたびに、「新しいレベルでの交流をすることができる、心の交流がうまく出来るという実体験を経験され、情報化時代における人と人の接点を文化としての、親点かつソフトと絡ぶ工夫で目ってもらえが後ろという、今年度のYEGスローガンとも相通ずるものだと思います。最後に講演された、デザインビーム社長国田中修高橋さんは、彼後の同社人社後かるヤ月年、ビームは生が一番おいしいという信念を持ち続けることが大切のスパードライのヒットモルだという、山梨県十二指腸の胃学を熱心に語り、この成功は、同社内外の技術社と密接関係、又、静岡県の連携の移動と、少しとはいかもしれないが、YEGスローガンのYEG連携を、再認識する講演でもありました。

さらに、お世話のなかで、我々YEGメンバーに対する若い、期待を感じ、十人十色の時代である現代、今の位置に座して何を持つか、結果家としての道を持ち、時代の変化を謙虚に受け止めて、明るく前進することが大事だとアドバイスされた事も申し添えておきます。

「商青連特別委員会」物語

商青連特別委員長　鈴木禎夫

序　「特別委員会とは？」の巻

商青連の委員会には、今まで、「総務」、「研修第1（企画）」、「研修第2（広報）」の4つの委員会があったが、そこに、昨年から「特別委員会」が加えられた。

「特別」の委員会は、商青連事業である、初代委員会は「連携」の名を冠ようと、全国各地で委員会を創設し、初代委員長は、ようやく成果が出始めたと言葉まで、高橋道雄を選ばれたのである。また、この委員会活動は、A級は「東北のスーパースター」の称号を持つS（岩手）や、盛岡の青森市と言われる民間のT（青森）らにより、「地域連携事業」という、地域連携事業を始めていた。

今年の特別委員会は、長崎県谷の自動車部品メーカーM（松田）と、初代X（岩手）のバッテリーを「軸」に、あとは、これ以外の全国の、「ITEG連携事業」の中で、「YEG（れんけい）」の、大キャンペーンを繰り広げて行った

3 「魅力ある商店街」の事例収集について

商青連特別委員会　松山茂

現在、商店街の空洞化は商店数等を都市別数字にまで拡大している。その結果、都市における活性化問題は、単なる商業問題ではなくなり、今では総合的活性化問題の多面な部分になりつつある。

まず、商店街の活性化として、とりわけ商業のが空洞化の変化で、第一は高度成長期の整備であり、第二にバイパス道路の整備である。これらがロードサイド・ビジネスの発展を生み、都市内商業を衰退させている。つまり都市内商店は従来の小売業の競争相手だけでなく商業各種問題等といった競争戦を必要としている。もう一つ商店街問題の新たに浮き問題としてモータリゼーションによる交通体系の変化である。これが複雑することで、渋滞問題（交通問題）の要因となり得るが、商店街の繁栄に関しては駐車場等の中期的問題ではなく商店所同別であり商店での駐車機の学ぶ点や駐車場設置利用のしかたなどが問われる。

「都市商業と地域商業計画」

次に、都市計画とその都市基盤に対する商業計画の連合・一体的調整を図る事の必要性が強く言われているが、これに関して国策を期待も多い、というのは、商店街活性化の為には広域小売店との競争が不可欠な場合が多く、中小企業政策的な対等では対応できない問題になってきている。

そこで、都市政策を通じ商店街活性化の調整が不可欠であることは、商業活性化の為の基本的な対策となる。日々商店街が生活基盤として重視されるとされるが、商業活性化は、商業者の自覚と、商業者の意識改革、商業者の意識改革、商業者の意識改革

第14回全国会長研修会岩見沢大会

北からテイクオフ!!

いま、北海道が燃えている

YEG連携便り

「人が輝く地域が輝く」、「ようこそYEGへ」を基調のもと岩見沢YEGを中心として道内各地YEGの仲間が「次世代の情報社会へ北からテイクオフ」、「輝く地で熱く集う創映会」を研修会テーマとして活動が始まった。

先ず第一会場岩見沢市民会館に集合しての開会式。現佐田会長・次年度大村会長予定者から南青年活動の指針について基調講演を頂き、各地YEGの一年間の締めくくりと、次年度へ向けての活動方針の発表とした。今年度から会員会員研修会と名称が変わった事にこだわりつつ企画が実行している。

記念講演は「高度情報社会と地域経済」とのテーマで地元出身の経済人（内定）に講演をお願いし、これからの情報社会において、それぞれの地域のYEG活動のきっかけを見つけたい。

分科会は約30ヶ所の現業保健福祉に分散します。そして青年部の課題・まちづくりの課題について、夜を徹し議論できるよう企画をしたい。またそれぞれの分科会には道内はもとより全国で活躍している、同世代の有識者をアドバイザーとして招聘し、議論に加わって頂きます。

初日はダイヤモンドダストの発生を期待し、城でつくンパルを朝の目覚めとします。

二日目総会は第一会場郁川オアシスパーク、そこで各分科会の報告と会員総会及び新会式が制定されます。また会長は北海道名物ジンギスカンが堪能できます。

全国のYEGの皆さん、お待ちしています。

北海道の緑ともう、そこで活動している「さっぽんこ」の味みを味わって頂ける研修会。

そこにはきっと熱く熱さる北海道が見えてくるに違いない。

開催日

平成8年7月31日（水）午後から4日（土）正まで。

場所

岩見沢市民会館・郁川オアシスパーク

参考

札幌雪祭の前夜祭

平成9年2月4日（火）

参考までに記載しますので、お早めのお申し込みをよろしくお願い致します。

横浜YEG●関東ブロック

復活!!ゴジラの滑り台

ゴジラが初めて日本に上陸した「多々良浜」（横浜市中区）にかつて建てられていたゴジラの滑り台を復活させようとして横浜商工会議所青年部が立ち上がり、現在、同商工会議所青年部（会長　伊藤　徳一）の部員ら5人が「復活!!ゴジラの滑り台」と題した広報ボスターなどを市内の企業に配布、実現に向け広く市民にその活動を知ってもらおうと協力を呼びかけている。

初代滑り台が作られたのは一九五八年、海岸にあったことから風化が進み、70年代には取り壊されてしまったが、同青年部は市民の声を反映し行動に移すことが出来れば、次代の子供達をはじめ、多くの市民に海岸体験したあの感動を味わってもらえるはず、と協力。

建設計画は、各省官庁の許りがない限り実現することが出来ないことから、現在、市民の支援を求め、イベント等を利用し署名運動を展開している。

一方、ゴジラの映画を制作している東宝からは、「許諾ではなく復活で」、しかも市民運動で建設されるなら、と快く了承、さらに、「予想される」ミニチュア模型（写真）も制作してくれたという。

今後も、各関係建設機関に集めた署名を提出するなどして活動していく予定という。

米沢YEG●東北ブロック

山形県商工会議所青年部連合会 会員大会を開催

米沢商工会議所青年部で、山形県商工会議所青年部連合会の会員大会を三役、去る6月28日に記念式典、懇親会などを約120名の参加で行われた。

この大会は、県内7つの商工会議所青年部が青年経済人として相互交流を深め、ともに交流・親睦を図ることを目的に年中行事として開催しているもの。

今大会は、当連合会の親立10周年にあたり、その記念事業として各部会・連合会の活動事業発表会も併せて行われた。

今回の米沢大会は、おまつりをコンセプトに企画、幕の最大イベント「上杉まつり」に同調を合わせたものその一環、懇親会では、おまつりの幻想的な雰囲気を演出、若連会員らが甲冑姿で登場し、満開に咲いた桜のもと大いに盛り上がった。そして、懇親会終了後は上杉神社川原の舞式「武神式」を観賞、厳粛かつ幻想的な雰囲気に早くからメンバー全員が青年部としての立場を確認、新たなスタートの場とした。

また、翌日はエクスカーションとして、甲冑姿で市内を練り歩く「上杉行列」、上杉軍と武田軍の一騎打ちを再現した「川中島合戦」に参加、実際におまつりを体験してもらった。

未だ厳しい経済状況ではあったが大会は、各青年部間の交流をさらに深め、成功裡に終了した。

山梨YEG●九州ブロック

熊本県商工会議所青年部連合会 設立総会開催される

去る6月13日に、商青連の松田会長、河野常務、松川九州ブロック長、九州の各県連合会長に出席をいただき、熊本県商工会議所青年部連合会が発足した。熊本県内9商工会議所のうち、青年部のある7商工会議所で設立をした。

熊本市のホテルニューオータニ熊本で開かれた設立総会には、約100名の青年部会員が出席をし、規約や事業計画などを承認した。役員人事では、熊本商工会議所青年部元部長相談役を会長に選び、各県会より10人の役員を決めた。

事業として、講演などを通じて後継者の育成や地域の活性化を進める。また、翌年度は青年経営者世界の本部（会長　伊藤　徳一）の部員ら5人が「復活!!ゴジラの滑り台」と題した広報ボスターなどを市内の企業に配布、実現に向け広く市民にその活動を知ってもらおうと協力を呼びかけている。

初代滑り台が作られたのは一九五八年、海岸にあったことから風化が進み、70年代には取り壊されてしまったが、同青年部は市民の声を反映し行動に移すことが出来れば、次代の子供達をはじめ、多くの市民に海岸体験したあの感動を味わってもらえるはず、と協力。

建設計画は、各省官庁の許りがない限り実現することが出来ないことから、現在、市民の支援を求め、イベント等を利用し署名運動を展開している。

一方、ゴジラの映画を制作している東宝からは、「許諾ではなく復活で」、しかも市民運動で建設されるなら、と快く了承、さらに、「予想される」ミニチュア模型（写真）も制作してくれたという。

今後も、各関係建設機関に集めた署名を提出するなどして活動していく予定という。

「会報コンクール」にご参加を!!

商青連では、会員各地の青年部が発行している広報紙（誌）について、その企画や内容についてコンクールを行い、優秀作品を選定し、青年部広報活動の一層の向上を図ることを目的にコンクールを実施致します。

会報の一層の充実を図るためにも、本コンクールに奮ってご参加くださるようご案内申しあげます。

［商工会議所青年部会報コンクール実施要綱］

1.応募規定

（1）コンクール対象作品

商工会議所青年部広報紙（誌）一般（当該商工会議所傘下に青年部ページあるいは青年部コーナーを有する場合を含む）

（2）応募方法

応募は1青年部1点（複数応募は不可）とし、郵送によるものとする。応募作品は平成8年1月以降発行のものとし、同じものの部を送付することとする（その際、年間発行部数に関する記載を添付すること）。

※今年度より県連からの参加も認める。

（3）募集期間

平成8年7月1日迄

（4）応募締切

平成8年9月30日迄（当日消印有効）

（5）送付先

〒100　東京都千代田区丸の内1-3-2

日本商工会議所中小企業振興部門

商青連事務局（商工会議所青年部「会報コンクール」係）

（6）審査発表

審査結果については、商青連事務局より入選幹会事務局に通知し、岩見沢市で開催される第14回全国会長研修会と併せて開催される第24回全国総会の場で表彰します。

2.賞

優秀作のみ　10点（表彰、記念品）

なお、応募作品を含め参加件数は会報に掲示します。